

臨床研究に関する情報公開

課題名 Oligometastases 状態の転移性肺腫瘍に対する体幹部定位放射線治療の全国遡及的調査研究
研究期間 西暦 2016 年 6 月（倫理委員会承認後）～ 2016 年 7 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ） ■研究に用いる情報 ■カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート ■その他（ 放射線治療計画データ ）
対象材料の採取期間 西暦 2004 年 1 月～ 2015 年 6 月
意義、目的 Oligometastases*状態の転移性肺腫瘍に対する体幹部定位放射線治療(SBRT)の全国遡及的調査研究を行い、oligo-recurrence**とsync-oligometastases***との両者で、予後にどの程度の違いがあるのかを検討する。併せて、oligo-recurrence**の予後因子としての意義を検討する。 。これまで、肺 oligo-recurrence**42 例の予後等に関する研究報告はあるものの、sync-oligometastases***は除外され、対象症例も少数の研究であったため、明確な結論は出ていなかった。本研究では、約 10 年間の全国の症例を集積することで、さらに検出力と信頼度の高い研究を行うことができる。また、oligo-recurrence** と sync-oligometastases***両者の予後因子としての意義を明確にすることができる。 *Oligometastases: 少数再発/転移状態の転移性腫瘍 **Oligo-recurrence: 原発巣が制御され、少数個の再発/転移巣がある状態。 ***Sync-oligometastases: 原発巣が制御されず、少数個の再発/転移巣が発見された状態。
方法 当院における、2004年1月から2015年6月までにSBRTが行われた肺oligometastases*症例を対象とする。 研究事務局から当院に送付された調査用Excelファイル(CD-RW)に連結不可能なデータを記入し、CD-RWを研究事務局へ返送する。
本研究に関する問い合わせ窓口 東北労災病院 放射線治療科 実施責任医師 白田 佑子 住所：宮城県仙台市青葉区台原4-3-21 TEL：022-275-1111